



中部の「みなとオアシス」の取り組み ～「みなと」を核としたまちづくり～

中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 船舶・施設係長 草野雄哉

1. はじめに（みなとオアシス制度創設の経緯）

物流・産業・防災の港湾（これまで）

- ・「みなと」は、日本の物流、産業を支える重要な役割を担ってきた。
- ・特に、戦後の高度経済成長期において、日本全体で急速な産業発展が求められた。
- ・防潮堤整備など安全面においても役割を担ってきた。



写真 日本の経済・物流を支える港湾（左：名古屋港、右：三河港）

にぎわい・地域振興の港湾（これから）

- ・「みなと」が、日本の物流、産業、安全を支える重要な役割を担うことは、今後も変わらない。
- ・加えて、地域振興、観光といった新たなニーズが目目されている。
- ・地域の「みなと」が持つ個性を活かした発展が必要。



写真 「みなと」のにぎわい（左：魚市場(御前崎市)、右：砂浜でのイベント(知多市)）

「みなと」を取り巻く環境の大きな変化

経済社会の変化に対応した、より良い暮らしを実現する港湾政策が必要！！

- ・まちづくりに関わる幅広い関係者と有機的に連携し、**地域の個性ある発展**を将来に亘り進める。
- ・「みなと」の資産を最大限に活用し、**市民の合意の下**で美しく活力ある「みなと」空間を形成する。

「みなとまちづくり」：「みなと」を核とした地域の個性ある発展を目的とした施策

2. 「みなと」を核としたまちづくりに向けて（みなとオアシス制度）

みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が申請に基づき登録するもの。



図 標章（シンボルマーク）

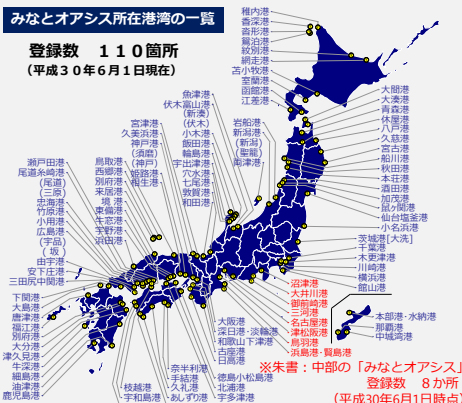


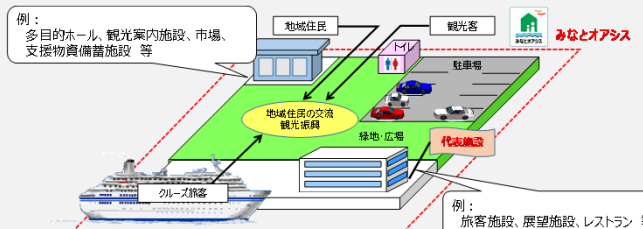
図 みなとオアシス所在港湾の一覧

みなとオアシスの特徴

- ・**住民参加**を基本とした「みなと」づくり
構想段階から運営・維持管理まで住民参加。
- ・「みなと」の**既存施設を有効活用**
港の既存施設を有効活用し、限られた予算で賑わいを創出する。
- ・「みなと」まちづくりの核となる施設の登録
港の施設を活用した海辺の交流拠点。
海・陸の玄関、海上交通の拠点、地域情報の発信の拠点。
海を舞台にした地域活動を支援していくための拠点。

みなとオアシスの構成施設

- ・旅客ターミナル
- ・地元産品の物販飲食店、文化交流施設 など



※みなとオアシスの構成施設は、各みなとオアシスによって様々であり、必ずしもこれら全ての施設を必要とするわけではありません。

図 みなとオアシスの施設例

みなとオアシスが有する機能

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休息
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他（災害時の支援、商業機能 など）

3. 事例紹介（中部地区におけるみなとオアシスの特色）

幅広い関係者との有機的な連携

- ・地元住民が主体的・一体的に行うイベント運営
地元住民の意向を踏まえた、地域の個性ある賑わい形成。
- ・災害時の支援機能の確保
普段からのコミュニティ形成・連携により、災害時の共助体制を強化。



写真 ビーチライフin新舞子（知多市）



写真 踊豆祭（おどろっかい）（焼津市）

中部地区内での連携

- ・中部みなとオアシス連絡協議会
- ・みなとオアシス会議
周辺自治体に対し「みなとオアシス」制度を周知・展開。



写真 みなとオアシス会議



写真 体験乗船した高速船

「みなと」の資産の有効活用

- ・旅客ターミナルの活用
既存施設を活用した交通結節点→目的地への転換。
- ・商業施設との連携
地元海産物等地域の個性を活かした賑わいの創出。
- ・災害時の支援機能の確保
常時利用もできる防災施設で日頃からの利用を促進。



写真 マリナーミナル（鳥羽市）



写真 旅客船ターミナル併設商業施設
ベイシスカ（津市）



写真 大型展望水門「びゅうお」（沼津市）



写真 浜島港耐震強化岸壁（志摩市）

全国との連携

- ・Sea級グルメ全国大会
全国のみなとオアシスから、自慢のグルメが大集合。来場者の投票によりその年のSea級グルメNo.1が決定する。各地域の「みなとオアシス」を広く全国に周知し、認知度向上を目的とする。



写真 第7回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inとば（H27.10）



写真 第11回みなとオアシス
Sea級グルメ全国大会inもんべつ



サメ春巻
（みなとオアシスとば）



津ぎようぞ
（みなとオアシス津なぎさまち）



あじひもの素揚げ
（みなとオアシス沼津）



ガマガリうどん
（みなとオアシスがまごおり）

写真 中部のSea級グルメ

4. 今後の展望（更なるみなとオアシスの活性化に向けて）

みなとオアシスの今後の展望

- ・訪日外国人旅行者等観光客受入環境の整備促進
今後も増加が見込まれる訪日外国人旅行者等の受入環境の整備を進める。
- ・港湾協力団体制度の更なる活用
港湾管理者が適正な民間団体を指定し、官民連携による港湾管理を促進するための制度。港湾協力団体は、管理者から業務実施に必要な情報の提供及び事務手続きの簡素化などのメリットを享受できる。
- ・みなとまちづくりマイスター認定の促進
「みなとまちづくり」の取組で“賑わいの創出”や“地域活性化”の成果が得られた事例の中心となった方を認定し、ノウハウを全国に継承する。



写真 清水港に寄港する飛鳥II～富士山を添えて～（H28.12）